
向日葵

まー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

向日葵

【ZPDF】

Z2336Z

【作者名】

まー

【あらすじ】

一人の女子高生のひと夏のお話……のはず。

一枚目（前書き）

小説初心者なので、ものつそい不定期更新になると想われます。季節というか時期を無視している感は否めませんが、あんまり気にせず読んでやってくださいな。

……この連載が終わる頃には夏なんぞ終わってるかもですが…（笑）

一枚目

ちやん ゆーちゃん

「……好きです。貴方が好き」

7月中旬の少し肌寒い雨の日、わたしはあの人に3年越しの想いを告白した。

「……ありがとう……」

あの人はそう言ってわたしを優しく抱きしめながら、とても綺麗な涙を流した。

あの人のスーツから香る花の匂いがわたし達を包んでいた。
男の人の涙をあんなに綺麗だと思ったのは、あれが生まれて初めてだつたのかもしれない。

彼女だけがそんなわたし達を静かに見守っていた
……そう、思っていたのに。

時は、1日前に遡る。

「まだ梅雨のせすなのこ暑こ…暑すゑで溶けてなくな…」

「うーーー…それでなくとも暑いんだから、あたしの傍でうだつだすんな、うつとーしー…」

「ひ、ひつどーー親友のわたしに掛ける言葉がそれ…?」

「うぬせーあたしだって暑いんだー…」

暑さでだらけていたら、友人の麻弥^{マヤ}にそのままひしゃくで怒られた。

「…なんて友達甲斐のない子なの…。」

ぶつぶつと文句を言つてこたら、ビリやら聞こえてこたらしこ。
「そんなことこつこは明日祝つてやうとやー」と、またしても言いつ返されてしまった。

「えー祝つてよー」

無論、こんなひしゃくな言ひ合ひにつものおふくろの範疇である。

わたしと麻弥は、高校の入学式で出合つてすぐに意氣投合し、
2年生となつた今でも一番の親友である。

嬉しい事にクラスも2年間同じで、

2年生の初めのクラス発表の日、「もしかして3年間一緒にだつたりして！」
と2人ではしゃいだりもした。

話は大きく変わるがさつきから祝う、祝わない、と言つてゐるが
明日はわたしの誕生日なのだ。

そして、彼女の

「あつ、そついえば由雨^{ユウ}さー」

突然麻弥に呼びかけられて、ふと自分がぼーっとしてゐたことに気が付く。

「んー?」

すっかり言い忘れていたがわたしの名前は「由雨」だ。
なんだか角ばつた名前だが、それで困つた経験も
画数がなんたらと書われたことも と、いうか気にしたこともない
ないので、

特に「どう」と言つてもなくそれなりに氣に入つてゐる。

「由雨は夏休みオープンキャンパスとか行く?」

さすがに高2ともなると、来年の受験を考えて夏休みの間に
各地の大学のオープンキャンパスへ行くことも考えなければなら
い。

「1校ぐらいは行つときたいかなあ… 麻弥も一緒に行かない?」

「うん、あたしも行きたい!○○大とかどうよ?」

麻弥が提案したのは、わたしたちの地域から一番近い国立の大学だ
つた。

国立だけあつて偏差値的には結構上位だが、選択としてわたしに

も悪くはない。

「いじょーーあ、でもわたし看護学部の方見たいんだけど、麻弥はどうする?」

「看護学部かあ…あたしは外国語学部見たいんだよねー」

「そつかー麻弥は英語得意だもんねー」

「あ、この間ちょっと調べたんだけど…説明会の場所は違つけど時間帯は一緒みたいだから、終わつたらどつかで待ち合せしない?」

そんな訳で、8月の初めにあるオープンキャンパスに麻弥と行くことになった。

一枚目（後書き）

オープニングキャンパスって、結構楽しいですよね。
感想、アドバイス、誤字脱字の指摘などがあればぜひ書いてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2336n/>

向日葵

2010年10月14日16時33分発行